

我孫子市文化財保存活用地域計画協議会（令和5年3月30日）議事録

<出席者>

古内新一委員、白水智委員、中村孝行委員、栗原祐子委員、福田晶子委員、吉岡朋久委員（企画政策課）、藤代健一委員（秘書広報課）、工藤文委員（商業観光課：代理）、木下登志子委員（鳥の博物館）、辻史郎委員（文化・スポーツ課）

<文化・スポーツ課>

近藤裕子係長、手嶋秀吾主任文化財主事、柏瀬拓巳主任文化財主事、今野澄玲主査（学芸員）

<施設見学>

教育委員会1階エントランスに集合し、ヤング手賀沼、布佐南小学校市史資料収蔵庫、旧井上家住宅を見学。

【ヤング手賀沼】

○事務局 耐震診断はクリアしていますが、雨漏りによる漏電の恐れがあり、使用しなくなった建物です。電気設備、内装等を改修し、中に棚を設置して収蔵庫として使用する予定です。来年度設計、再来年度修繕工事となっています。

収蔵するものは、湖北特別支援学校に仮置きしている民具です。湖北特別支援学校は期限付きで借りている教室なので、令和5年度を目途にお返しすることになっています。収蔵庫の工事期間中は延長を依頼し、その後、こちらに民具を移動します。民具を保管するのに2教室分お借りしています。棚を設置することによりこちらの建物内に全ての民具が収まる予定です。

○辻委員 湖北地区公民館も近いので、生涯学習の場として活用できるとよいと思います。

○中村委員 特別支援学校よりは資料の保存環境が良くなるのでしょうか。

○辻委員 特別支援学校での管理が悪いわけではありませんが、場所柄、不特定多数の人が入れないので、資料の搬入出等の利便性がよくないので、今後を見据えると収蔵庫が必要です。

○白水委員 収蔵しているだけでは、文化財の大切さが伝わらないので、地域の方にも関わってもらえるような展示や保存体制を目指してください。

○栗原委員 資料館的な要素も盛り込むのでしょうか。

○辻委員 展示スペースを考えると少し規模が小さいので、現在は資料館を併設することを考えていませんが、資料を収めながら学んだり、体験できたりすることができればと思います。

○栗原委員 教室 1 つ分で展示している場所もありますので、検討してみてください。

【布佐南小学校市史資料収蔵庫】

○事務局 湖北特別支援学校で仮置きしていた井上家の紙資料を中心に市内旧家の文書を保管しています。令和 3 年度、文書を保存するために棚を入れましたが、すでに 70% くらいの棚が埋まっている状況です。市内で文化財を所有している家からの寄贈の要望がありますが、収蔵庫の状況を見つつ、対応しています。

温湿度の管理はできていませんが、収蔵庫を訪れた際は、温湿度の記録、風入れ、清掃などを行っています。

○中村委員 所有者はどのようになっているのですか。

○辻委員 教育委員会内ということで、認めていただいています。近くに歴史文化財系の施設があるので、何かあった際の対応がしやすいのが利点です。こちらの施設では埋蔵文化財を扱っているので、資料の保管は分けています。

○白水委員 水回りが充実していますが、きちんと分けれているので資料には心配ないかと思います。

○栗原委員 目の前で無くなるようにしている歴史資料を救出できる場となってよかったです。

【旧井上家住宅】

○事務局 旧井上家住宅の敷地内に観光客が使えるトイレを設置するために今年度、実施設計を行います。これは、地域計画の中で旧井上家住宅を布佐地

区の観光拠点と位置付けているためです。現在、観光客が旧井上家住宅で使用できるトイレは旧漕場のみで、靴を脱いで使用するため、利用者に不便をかけています。また、トイレ自体も古いものなので、いつ壊れてもおかしくない状況です。

トイレの設置予定地は裏門の奥のスペースか駐車場スペースか検討中です。

裏門奥に設置した場合、配管距離が短い、旧井上家住宅敷地内で管理しやすい等のメリットがありますが、ふれあいラインから来た観光客が利用しづらいというデメリットがあります。

駐車場スペースに設置した場合は、ふれあいライン沿いで目立ちますが、敷地内の勾配があるので、設置が難しいようです。

○会長 駐車場スペースは見通しが良く、利用しやすいが、裏門奥に設置した場合、井上家住宅を見ながら利用してもらえるのでよいと思います。

○中村委員 トイレが表にあると趣がよくないので、駐車場から裏門の裏手に案内したほうが良いと思います。

＜会議進行＞ 旧井上家住宅土間

○事務局 本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。令和4年度第2回我孫子市文化財保存活用地域計画協議会になります。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、古内会長、よろしくお願い申し上げます。

○会長 よろしく願いいたします。議事を進めさせていただきます。今日は3箇所を見学し、文化財の保存・活用の状況を見学しました。事務局から資料の確認をお願いします。

○事務局 資料を確認します。先日ご郵送した資料はお持ちでしょうか？あわせて今回「会議次第」を配布しました。キッチンカーのイベントを旧井上家住宅の隣地で行うので、そのチラシをお配りしました。このキッチンカーのイベントでは駐車場、トイレの利用申請があったので、旧井上家住宅でも協力しているものです。ご確認ください。

○会長 よろしいでしょうか。では、会議次第に沿って議事を進めていきたいと思

います。先ほど見学した各施設について、改めて事務局からご説明いただきたいと思います。よろしくお願いします。

○事務局 今日是我孫子市文化財保存活用地域計画策定後設置した布佐南小学校市史資料収蔵庫と、来年度設計に入りますヤング手賀沼・旧湖北支所跡地と旧井上家住宅トイレ設置予定地を見学していただき、計画の進捗をご確認いただきました。

まず、設置後の布佐南小学校市史資料収蔵庫については、現地でご説明したとおり、資料整理の場としての機能と資料を保管するために室温湿度の記録を行っています。

次にヤング手賀沼・旧湖北支所跡地につきましては、民具を収蔵する施設の設置を考えています。ヤング手賀沼部分の耐震は問題ありませんが、旧湖北支所部分は耐震診断で現在のままでは使用できないことが判明した結果、取り壊すこととなりました。これらを踏まえて効率的に民具等資料を収蔵できる施設にするために来年度実施設計を行うため、設置にあたりご意見・ご感想など窺いたいと思っています。

最後に旧井上家住宅トイレ設置についてですが、現在、旧井上家住宅のトイレは旧漕場と母屋に1基ずつしかなく、いずれも靴を脱がないと使用できません。観光拠点として旧井上家住宅を活用していく上では、来訪者への利便性が欠けている状況です。そこで、誰でも使えるトイレの設置に向けて進めていきます。

○会長 ありがとうございます。それでは、事務局の報告について何か質問はありますか。

○栗原委員 旧井上家住宅を拠点としてトイレの設置を検討されていると思います。例えば、布佐地区は野外美術展というイベントで来たときは、イベントに合わせて他の文化財を見学して布佐の魅力を感じました。旧井上家住宅を文化財というだけでなく、布佐の観光地の拠点としてどのように考えているか教えてください。

○事務局 布佐地区での拠点を旧井上家住宅とすると、近隣ですと旧井上家住宅を中心として神社や旧道などが町歩きの要素になるかと思います。あわせて旧井上家住宅には広い駐車場があります。成田線を渡った布佐市街地ですと駐車場スペースがあまりなく、車での来訪が難しいため、旧井上家住宅の駐車場を利用し、布佐市街地の町歩きの誘導ができればと考えています。また、来年度サイクルラックを設置する予定ですので、自転車を置いて回ってもら

えるような構想を持っています。

○辻委員 地域計画でも検討しましたが、布佐地区は町並みとして歴史的なものが残っているわけではなく、点と点をつないで布佐の町を歩ける取り組みを考えています。町歩きをとおして地域の活性化につなげる方法を考えています。

このことを踏まえると、旧井上家住宅の駐車場はバスも止められることは大きな利点だと考えます。ここを拠点にして布佐地区をまわるルートを考えたいと思います。

○工藤委員 我孫子の観光を考えると我孫子の西側に目がいきがちなので、市民の間でも東側の歴史の良さについて認識が薄いという現状です。我孫子の歴史的要素が偏らないためにも旧井上家住宅は大きな要素かと思っています。観光的な視点やキッチンカーなどの商業的なところで商業観光課としても一緒に取り組めたらと思っています。栗原委員がおっしゃってくださったように町歩きというのはとても基本的な方法ですが、大事なことだと思います。一緒に考えていければと思います。

○藤代委員 まず、ヤング手賀沼・旧湖北支所について思っていたより内装が悪くない状態でした。ただ、旧湖北支所は取り壊しとのことで、2つの建物をつないでいる渡り廊下を撤去した場合、建物に与える影響に留意が必要と思いました。

布佐南小学校については、すでに資料が多くあるので、借りられる教室を広げられると良いかと思いました。

○事務局 文書については、市内の所蔵者から寄贈したいという声も出ていますが、なかなか所蔵スペースが足りないため、すぐに受け入れられない状況です。しかし、我孫子の歴史を散逸させるわけにはいけないので、所蔵場所のやりくりをしながら資料の収集を進めていきたいと思っています。布佐南小学校については、学校の利用方法等もありますので、学校施設側と情報交換をしながら、利用できるよう働きかけていきたいと思っています。

○栗原委員 我孫子市にはたくさんの方が大量の文書を持っていそうですね。

- 事務局 現在、布佐南小学校に所蔵しているお宅の資料は市内でも1・2の資料点数を持っている家になります。その他に多く資料をお持ちの方が1件ありますが、そのほかは現在資料を寄贈していただいたお家の半分、もしくは3分の1程度です。
- 辻委員 多く資料をお持ちのお宅は、蔵を解体するので、蔵で保管していた文書を母屋に運んでも保管スペースがないので、寄贈したいという案件が多いです。逆に段ボール1個、2個のお家ですと現在納戸にあるので、お家で保存できてしまうということになります。
- また、寄贈を受けるにあたって、我孫子市の歴史に係るものと選別させていただきますが、それでも市の保存スペースが足りないのが現状です。
- 事務局 今日、ご覧いただいた資料も我孫子の歴史にとって大切かどうか調査したうえで受け入れたものです。
- 中村委員 農家には民具など出てくるかと思います。最近、我孫子市でも昔の農家を取り壊されていると感じるなか、民具などの収蔵スペースが今回見た収蔵スペースで足りるのか心配です。一時保管場所や収蔵スペースが大切だと改めて感じました。
- 栗原委員 我孫子市史研究センターとまちづくり協議会がタイアップして町歩きイベントを行いました。その方々おっしゃるには、今後資料が散逸してしまう可能性が高いので、今のうちに収蔵庫をつくる必要があるとのことでした。
- 中村委員 旧井上家住宅の周辺の活用について、以前野外美術展がありましたが、イベントでは布佐地区の自然・公園・文化財の活用がされ、作家による作品の案内があり、町を回遊できるものでした。同じようなイベントがあると町おこしになるかと思いました。
- 辻委員 野外美術展については、かなり大きな労力がかかっていたようで、続けるのが大変だったと聞きます。ただ、野外美術展のようなイベントがあると町おこしになるので、魅力的で旧井上家住宅を使いたいという話であれば

検討したいと思っています。

○白水委員 新潟のトリエンナーレに行ったことがあります。広告代理店などが入り大きな企画だと思います。こういった単発的なイベントには人がたくさん来ることがわかりました。美術を見たいというニーズや大金も動くことがわかりましたが、文化財を残して活かすというのは日常の話なので、また別な次元として考えなければならないと思います。身近なものを残しての活用については、もっと無理のない継続していく方法があるのだと思います。

○栗原委員 我孫子の野外美術展は熱意がある市民の力で立ち上げたイベントです。水の館で行われているイベントも市民主体で行っています。行政間でも縦割りではなく、横のつながりで連携し、そのような力を使える仕組み作りが大切かと思います。

○白水委員 継続するには、市民から生まれたイベントの方がふさわしいと思います。

○会長 我孫子市にはJBFのような大きいイベントがありますが、既存のイベントの中に文化財的な要素を入れることは難しいのでしょうか

○木下委員 JBFでは美術作品を売るブースや工学系のブースなどもありますので、入れられないことはないと思います。

文化施設や博物館は人と文化をつなぐハブの役割を担っていると言われていて、イベントを行うにあたっては、トイレも大切ですが、東側の文化拠点として母屋を整備することが大切だと思います。その延長線上で、鳥をキーワードにした連携を行うことができると思います。整備するときは、どのような活用を目指して整備するのか、整備後、どのように連携するのかを考えながら課題解決を行えばと思います。

○会長 ヤング手賀沼はコホミンの近くにあり、長寿大学との連携ができますし、旧井上家住宅は大型バスが駐車できることから小中学生の学習の場としても活用できます。将来につなげるための活用が必要かと思いません。

- 辻委員 他に学校の子どもたちの課外授業の場として提供できるかと思います。また、旧井上家住宅は鳥獵とのつながりもあるので、鳥博との連携ができると思います。
- 近年、コロナウイルスの感染によって、イベントができませんでした。文化財を活用した郷土芸能体験や和綴じ本などのイベントを行ったところ、かなりの参加がありましたので、いろいろな入り口から文化財に興味を持ってもらえるようなきっかけ作りができるようになったと思います。
- 長寿大学に関しても学ぶだけで終わらず、実践する場として旧井上家住宅やヤング手賀沼跡地の活用を検討しています。
- 栗原委員 せっかく学んだことなので、実践場として提供できることは素晴らしいと思います。まちづくり協議会なども取り込んでみてはいかがでしょうか。
- 白水委員 ヤング手賀沼についてですが、立地は台地なので問題ないかと思います。基本的な躯体も鉄筋コンクリートなので問題ないかと思いますが、1階2階部分の雨漏りが酷かったので、その補修を適切に行えば使えると思います。その他に、空調・遮光を行ってください。
- 布佐南小学校の方は環境的には良く保たれていると思います。ただ、先程もお話がありましたが、代替わりなどで受け入れる資料が増えてくる可能性は高いので、いま、多少余裕があるときに、将来的に安定して資料が受け入れられる収蔵庫の確保が必要だと思います。封筒も中性紙封筒に替える必要があります。
- 旧井上家住宅に関しては、観光客の視点で考えますと、まず、観光する前後に使用できるトイレがあると便利かと思いました。あわせて、周辺にある観光スポットの情報が知りたいです。どのくらいの距離で何かできるのかわかると観光しやすいかと思いました。
- 文化・文化財は保存だけでなく、活用することが大切です。活用は観光につながりますが、ここでしか体験できないもの、味わえないものを自慢すること、これは文化自慢、地域自慢だと思います。ですから、観光と連携する必要性を強く感じます。
- 福田委員 子どもたちが文化・歴史に触れる機会を大切にしていきたいと思います。収蔵も大切ですし、展示やイベントなども工夫していただきたいですが、まずは学校の総合学習の場としての活用も大切だと思います。学校

と連携して、地域学習の一環として文化財に訪れる学年を設定すると、子どもたちの印象に残りやすく、次世代につなげるきっかけになるかと思います。また、この文化財が我孫子市にとってどのような位置づけなのかをわかりやすく説明できるものがあると良いかと思います。調べ学習もありますし、そのためにも学校図書館との連携なども視野に入れていただけたらと思います。

○吉岡委員 南小学校の収蔵庫は有効的に活用していることを確認出来てよかったです。ヤング手賀沼については、建物の改修については雨漏りを修繕して収蔵庫として利用したほうが良いのか、除却して新たな建物を建てた方が良いのか文化・スポーツ課とも検討中ですので、その都度、皆様のご意見いただければと思います。

旧井上家住宅については、企画の立場から申し上げれば、保存しても来場者がなければ地域の活性化には繋がらないため、イベントや情報発信を行って、認知度を高めていっていただきたいと思います。それが、保存につながりますので、ぜひ、続けていただきたいです。

○会長 ほかによろしいでしょうか。議案は以上です。これをもって、第2回我孫子市文化財保存活用地域計画協議会を終了します。

以 上